



平成27年2月27日

各位

上場会社名 株式会社タケエイ
 代表者 代表取締役社長 山口仁司
 (コード番号 2151)
 問合せ先責任者 取締役 専務執行役員 輿石 浩
 (TEL 03-6361-6820)

退職給付債務の計算方法変更に伴う営業費用の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年3月期決算において、退職給付債務の計算方法変更に伴う営業費用を計上する見込みとなりました。そのため、平成26年7月28日に公表した業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,500	2,600	2,450	3,610	156.97
今回修正予想(B)	28,500	2,330	2,180	3,440	148.47
増減額(B-A)	0	△270	△270	△170	
増減率(%)	0.0	△10.4	△11.0	△4.7	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	24,890	3,239	3,069	1,601	75.74

修正の理由

1. 退職給付債務の計算方法変更に伴う営業費用の計上 (退職給付に係る負債)

当連結会計年度末より、当社及び同一の退職給付制度を採用する連結子会社(2社)の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法へ変更致します。

この変更は、当社及び連結子会社(2社)の中期的な人員計画等を勘案した結果、従業員規模の拡大が想定されることから、今後は原則法による退職給付債務の計算結果に一定の高い水準の信頼性が得られると判断し、期間損益計算の一層の適正化を図る目的で実施するものです。

この変更に伴い、退職給付債務の増加(約270百万円)が見込まれ、「売上原価」ならびに「販売費及び一般管理費」に「退職給付費用」として計上する予定です。

2. 今後の見通し (業績予想の修正)

上記1. をふまえ、平成27年3月期通期連結業績予想を上表のとおり修正いたします。

なお、平成27年1月30日発表の当第3四半期決算短信「経営成績に関する説明」にある「期ズレの発生(東京オリンピック需要の遅れ、大型再開発案件の期ズレ、新規事業の立ち上げにおける進捗もたつき等)」については、現時点で試算することが難しく、そのため、事業活動による業績予想への影響につきましては、今回の修正には織り込んでおりません。

以上